

日清製粉グループ 第1四半期連結決算、通期連結業績予想

[平成18年3月期第1四半期連結決算]

計画を上回り順調に推移。各事業において「成長」に向けての戦略投資を実行。

株式会社日清製粉グループ本社（社長 長谷川 浩嗣）の平成18年3月期第1四半期につきましては、「成長」を基本命題とする第二次中期経営計画がスタートし、お客様から高い支持が得られる新製品や付加価値製品の開発・市場への投入、販売促進活動や新しい市場やチャネルの開拓を積極的に進めて出荷伸長を図るなど、各事業において成長に向けての戦略を遂行してまいりました。

この結果、業績は計画を上回り順調に推移し、売上高は1,051億24百万円（前年同期比3.0%増）と増収となりました。収益面では「成長」に伴う積極的な販売促進費等の支出により、経常利益は56億68百万円（前年同期比7.0%減）、四半期純利益は29億30百万円（前年同期比4.1%減）と減益となりました。

第1四半期収益の計画比進捗

	経常利益			四半期純利益		
	計画 (百万円)	実績 (百万円)	計画比	計画 (百万円)	実績 (百万円)	計画比
第1四半期収益	5,400	5,668	105.0%	2,700	2,930	108.5%
(中間期予想進捗率)	(49.1%)	(51.5%)	-	(48.2%)	(52.3%)	-

[平成18年3月期通期連結業績予想]

売上高過去最高、経常利益3年連続過去最高を更新の見込み。

第1四半期の業績は順調に推移しており、中間期業績予想、通期業績予想とも、当初予想通りとしております。今後も、主要製品の拡販と海外事業、中食・惣菜事業をはじめとする成長領域へ経営資源を投入し、新市場開拓を進めるとともに、「成長」に伴う様々なリスクへの抵抗力強化として、各バリューチェーンにおいて新たな視点で仕組みを見直して生産性や効率の向上を図ってまいります。

通期業績予想は、売上高は4,350億円（前期比4.5%増）と過去最高を更新し、経常利益は255億円（前期比1.5%増）と3年連続で過去最高を更新する見込みです。なお、当期純利益は前期にIT投資減税を計上した影響により、133億円（前期比2.2%減）と減益となる見込みです。

[積極的な利益還元]

自己株取得と株式分割の実施。

当社では、前期は年間配当を1株当たり3円増配し14円とし3期連続で増配を実施するなど、過去から株主の皆様への利益還元を積極的に進めております。今期におきましても、7月までに自己株式の取得を2,000千株、22億96百万円実施するとともに、本年11月18日付をもって普通株式1株を1.1株に分割を予定しております。今後も利益還元を機動的に行ってまいります。

なお、株式の流動性向上、個人投資家層の拡大を図るため、1単元の株式数を平成17年10月3日付をもって1,000株から500株に引き下げること合わせて決定しております。

以 上